

# 富岡・夜の森の桜 12年ぶり歩いて花見 2.2km全ての観桜可能に



▶立ち入り規制が緩和された夜の森地区の桜のトンネルを散策する人々  
■9日午前11時50分ごろ、福島県富岡町

we support  
**RQ**  
災害教育  
センター

MONTHLY

復興支援  
かわらばん

「すけさきた」

しんぶん

「東北に黒糖を送ろう！大作戦しんぶん」改め  
「すけさきた」とは  
宮城県登米市あたりの言葉で  
「ボランティアに来たよ」という  
意味である

(4月10日 河北新報)

福島県富岡町の夜の森地区で桜並木が見頃を迎えている。桜並木の大部分は東京電力福島第1原発事故に伴う帰還困難区域内にあるが、今年1月に立ち入り規制が一部緩和され、全長2.2キロ全ての観桜が可能になった。町民らは12年ぶりに桜のトンネルの下を歩いて花見を楽しんだ。

富岡町からいわき市に避難する会社員林芳典さん(60)は「幼い頃からずっと見てきた桜なので、懐かしい思いでいっぱい。ただ、周りの景色を見ると復興はまだまだだと感じる」と話した。

県外からも多くの花見客が訪れた。岩沼市の無職吉田こうさん(79)は「原発事故前に何度か来ていた。桜の美しさは全く変わっていないと安心した」と笑顔を見せた。

夜の森地区は町が来年春季の避難指示解除を目指す特定復興再生拠点区域内にある。拠点内では11日、寝泊まりしながら帰還の準備を進める準備宿泊が始まる。

(4月5日 朝日新聞デジタル)

JR東日本は5日、福島県沖を震源とする最大震度6強の地震で脱線した東北新幹線について、14日に全線で運転を再開すると発表した。一部区間で徐行運転が必要なため、当面は臨時ダイヤ



## 東北新幹線、14日に全線運転再開へ 脱線から1カ月ぶりに復旧

東北新幹線は3月16日の地震の後、那須塩原―盛岡間で電柱や高架橋などの損傷が約1000カ所見つかかり、運転を見合わせていた。復旧作業を進め、安全が確保できた区間から順次、運転を再開。2日には郡山―福島間、4日には仙台―ノ閔間が再開し、東京―福島間や仙台―盛岡間を通常の5〜6割程度の本数で走っている。

最後の不通区間となっている福島―仙台間は損傷箇所が多いため20日前後の再開予定と説明していたが、安全確保の見通しが立ったことから、予定が早まったという。

また同社は、今回の地震の影響で、予定通りの再開の場合でも約120億円の減収となり、復旧費用は150億〜200億円となる見通しを示した。(小川崇)



脱線した東北新幹線の車両を牽引(けんいん)する作業=3月27日、宮城県白石市、朝日新聞社ヘリから▲

APRIL  
**11**  
2022



文責：井上文子(西表島エコツーリズム協会 東北復興支援担当)